



ふうせん バレーボール

しょうがいの有無や程度にかかわらず、誰もが参加でき、子どもから高齢者まで、一緒にプレーできる6人制のバレーボール競技です。



ルール

バドミントンコートを使用し、ネットで分けられたコートにそれぞれ1チーム6人ずつ入り、ネット越しに両チームが鈴の入った風船を打ち合います。チーム全員が風船にタッチし、10回以内に相手コートへ返します。15点先取するか、規定時間内に多く得点したチームの勝ちです。

ピンク色が基本

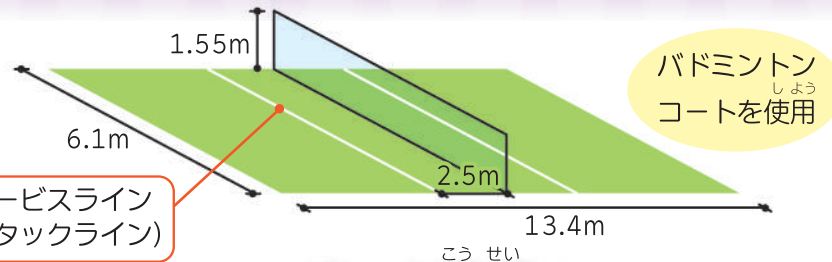
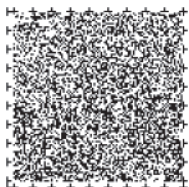
鈴を2個入れる
目の不自由な方が音をたよりにプレーできるための工夫です。

40cm

結び口にテープを貼る

試合方法

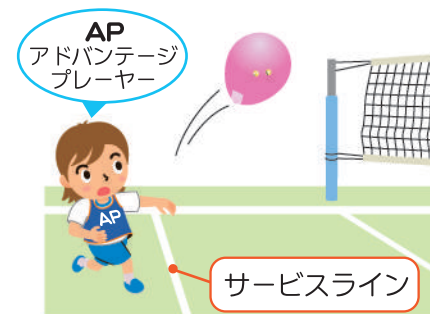
- ①試合は1セットマッチで、チェンジコートはしません。
- ②得点はラリーポイント制で、サーブ権の有無に関係なく加算され、15点先取で勝ちとします。ただし、時間との併用ルールですので、試合時間終了時点でも勝敗を決めます。



チーム構成

ハンディレベル(HL)を定めます。コート内の6人はHLの合計が18以下になるよう構成します。

ハンディプレーヤー (HP)	全面的な介助が必要な人	HL 1
	部分的な介助が必要な人	HL 2
	単独プレーが可能な人	HL 3
アドバンテージプレーヤー (AP)	障がいのない人	HL 4



APはサービスラインの後方から、HPは任意の場所からサーブを打ちます。

ポイント

障がいのある人もない人も一緒にチームを組み、チーム全員が、少なくとも必ず1回は風船に触れることがポイントです。

動きに制限のある障がい者や高齢者にも確実にプレー機会があるので、チームワークが大切となる競技です。

